

## 平成 21 年度地震防災訓練（後期）の方向性

### 訓練の趣旨

前期の「情報伝達訓練」を受け、後期は「突発災害対応」を想定して以下の2点を目的とする。

- ①中期計画の最終年度として、過去6年間に実施してきた基礎的内容の徹底を図る。
- ②災害時の状況に関する現実的な想定により、突発災害対応の実効性の向上を図る。

### 訓練内容の骨子

#### 1. 災害対策統括本部および部局災害対策本部の設営

目的：現状における災害時対応能力の到達度と課題を確認する。

具体的内容：

- ・「名古屋大学防災隊」の腕章を作成・配布し、災害対策要員の役割分担を確認する。
- ・災害対策用備蓄・食料備蓄について、備蓄場所、使用ルールおよび賞味期限を確認する。
- ・各部局の災害対応力に関する検討を依頼し、報告を求める。
- ・本部・部局の災害対応マニュアルの不十分な点を改訂する。

#### 2. 全学停電を想定した対応訓練の実施

目的：より現実に近い状況下での災害時対応能力を検証するとともに、部局毎の本部長指示による災害時行動を確認し、徹底する。

具体的内容：

- ・地震による停電を想定し、訓練開始を防災無線のみで伝える。
- ・訓練は、PC メール、FAX、AC 電源を必要とする電話機による通信を行わず、他の方法による情報伝達の確認を行う。

#### 3. 教養教育院における訓練の充実

目的：「身を守る」・「助ける」・「待避する」の行動の確認と徹底を図る。

具体的内容：

- ・一斉避難の問題点を確認し、教員の指示や館内放送による誘導の充実、段階的避難の検討。
- ・安否登録の指導・徹底。

#### 4. 部局分散・雑居建物の状況確認と対応

目的：部局防災隊では把握しきれない複雑な状況への対応を検討し、各建物で部局対応を補う方法を模索する。

具体的内容：

- ・部局分散として環境学研究科、雑居建物としてエコトピアなどを例に、関係部局と相談して問題点を把握し対応策の雛形を作る。

## 5. その他、例年通り実施する内容

- ・安否登録訓練 : 災害対策室・情報基盤センター
- ・救命救急講習 : 災害対策室・施設管理部
- ・けが人搬送訓練（保健管理室および参加部局と調整） : 施設管理部
- ・消火器訓練・起震車体験（消防局へ協力依頼） : 施設管理部
- ・避難を含む部局独自の企画 : 各部局
- ・防災講習会（豊田講堂、各キャンパスへ伝送配信） : 災害対策室・施設管理部